

四旬節(レント)第4週 主日礼拝

2018年3月11日

第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(都合により休会)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ローマ人への手紙』8章35-37節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌18「 ^{みかみ} おお御神をほめまつれ」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌367「イエスよ この身を」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』8章40-42、49-56節(新約127頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「信じ続けること」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌171「今日まで守られ」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	小林 洋子姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌60「 ^{あめつち} 天地こぞりて」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会説教：近伸之牧師	音響・録音：片山 健司兄	C S 担当：近伸之牧師
司集	会：伊東 一馬兄 会：長谷川睦子姉 小山 千春姉	音響・録音：片山 健司兄	説教の録画：近伸之牧師 掃除：笹川 清子姉

説教メモ

1. 会堂管理者ヤイロはすべてを犠牲にする覚悟で主の前にひれ伏した。主を恥じない者を主も恥じない。
2. 「ただ信じなさい」は「信じ続けなさい」とも訳される。それは、キリストからいかなる時も目を離さないこと。
3. 長血の女のいやしは彼女自身の、娘の復活はヤイロ自身の信仰による。投げ出さずに信じ続けた結果。

先週の暗唱聖句

「わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことはありません」
(『ヨハネの福音書』6章35節)

今週の暗唱聖句

「これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるものです」
(『マタイの福音書』26章28節)

(牧師のサイン：)

個人、団体からの来信

2018年3月11日

PBAよりDVD[2月放送分]／

宣教区壮年会主催「スケッチ散策」ご案内【4月21日(土)10:00~14:30 新津教会集合】／
リース宣教師追悼記念文集／「新潟朝禱会通信」第185号ほか

先週の集会出席者数

3/4(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計2	成人女性1
	第一礼拝	男4 女4	※月に一回、実用書道教室を開催
	聖餐礼拝	男10 女15 計25	3/5(月) 月曜家庭集会 男2 女4
	(子ども)	男児1 女児4	3/8(木) 阿賀野祈禱会 ※都合により休会
夕拝	男1 女1	3/9(金) シャベリ場夕ビタ 男- 女3	3/9(金) 金曜祈禱会 男1 女3

諸集会のご案内

	※月に一回、実用書道教室を開催		次回は3/19(月)
3/12(月)	月曜家庭集会	(休会)	次回は3/19(月)
3/14(水)午後7:30	新潟山形僚禱会	教会堂	司会：横堀 信子姉
3/16(金)午後1:30	しゃべり場夕ビタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：小山 千春姉
3/16(金)午後8:00	金曜祈禱会	教会堂	

3/18(日) 四旬節第5週

第一礼拝 午前8:00	司会説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：佐藤 繁実兄		
第二礼拝 午前10:30	司会：片山 健司兄 集会：横堀 信子姉 笹川 清子姉	映像・音響：山崎 敬典兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：小山 千春姉 掃除：長谷川睦子姉
礼拝の予定			
午後の予定	カナン訪問	午後2:00~	司会：横堀 信子姉
夕拝 午後7:30			

報告

1. 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。いただいたみことばを心に刻みつけて新たな一週間を歩みましょう。
2. 宣教区内外の活動
3月12日(月) 午後1時30分 2017年度卒業式・修了式 新潟聖書学院チャペルにて
3月17日(土) PM1:30より ライフセンター感謝会 新潟福音教会にて 横堀兄が出席
同日 午後3時より 新潟山形DS(青年会) 新津福音キリスト教会にて
- 3.

小さい子どもと遊ぶのは楽しいものですが、あの「どうして?」「ネ、どうしてそうなるの?」という「なぜ?」の連発には閉口することがあります。しかし、あの「どうして?」「なぜ?」が子どもたちを知的にも精神的にも成長させるので、それを抑圧すると、その子の成長が遅れるだけでなく、人格までもゆがめてしまう、というようなことをどこかで読んだことがあります。「うるさいわね、お母さんはいま忙しいんだから・・・」というようなセリフで追い払うかわりに、親子共々、その「なぜ」を追求すれば、素晴らしい生きた勉強の機会になるというのです。

子どもだけでなく、だいたい人間というのは、絶えず「なぜ」を問い続けることによって成長するものだろうと思います。「人間はなぜ生きているのか」「なぜ戦争をするのか」「なぜ死を恐れるのか」等々。

こういう根源的な「なぜ」を真剣に問うことによって、本当に人間らしい生き方が見だせるようになっていけるのではないのでしょうか。ですから私たちは、世界の現状、日本の社会の現状などに対して「なぜ」を問い、そして根本的には自分の生き方そのものに対して、「なぜ」を問うことをやめないみずみずしい心を持ち続けることが、とても大切だと思うのですが、どうでしょう。

例えば、「人類はなぜこう、性懲りもなく戦争を繰り返すのか」という問いも、今、本気で問わねばならないものです。しかし身近なこととして、「自分はなぜ同じ失敗を繰り返すのか」「なぜ自分はあんなことをしてしまったのか」など、自分自身に問いを向けることも忘れてはならないと思うのです。

この「なぜ」を深く掘り下げて、自分でもどうすることもできない罪の問題に突き当たるとき、初めて正しい答えに接近することになるのではないのでしょうか。つまり、罪の問題を求め始めるとき、世界最大の「なぜ」、すなわち「神がそのひとり子を十字架につけねばならなかったのはなぜなのか」の解明が、自分自身への答えとして見いだされることになるはずだからです。

主イエスも十字架上で、「神よ、なぜ、私をお見捨てになるのですか」と父なる神に問われたのでした。その問いの意味を、私たちが真剣に尋ねていこうとするならば、それは自分に、いや自分の罪にかかわりがあることにきつと気がつくはずなのです。そして、そこに見事な解決のあることを必ず発見するに違いありません。

神の前に「なぜ」を大切にしたいものです。



東日本大震災から七年目。復興支援のために何ができるか、一人ひとりが考えていこう



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



3/17(土)「God Home ~ 神様の家」メイ成美さん

沖縄県那覇市に家事レッスンスタジオを持つ「GHOグッドハウスキーピングおきなわ」は、ハウスクリーニング、家事代行、お掃除や整理・収納のコーディネート、セミナーやレッスンなどを行っています。代表取締役のメイ成美さんは、沖縄に移住し、キリスト教信仰を持ったことをきっかけに、家族がハッピーに過ごすことができる家を作るための手伝いをしたいと、この働きを始めたといいます。メイさんにお話を伺うとともに、衣類の収納レッスンの様子をご紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、ライフライン
の協力教会です。

2018年度教会目標 **「弟子の覚悟をもって」**

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

